

振り返り & パーソナルプランニング

年 月 日 () 名前

1、あなたのことを思い出してみましょう

努めた ↔ 努めなかった

話す人のことを考えながら聞こうと努めた

4	3	2	1

聞く人のことを考えながら話そうと努めた

4	3	2	1

2、話し合いの集団の中で起きていたことを思い出してみましょう

一体感があった

4	3	2	1

ばらばらだった

あなたは自分の考えと異なる人にあたたかかった

4	3	2	1

イライラした

3、本日の活動を通してあなたが気付いたり、考えたりしたことを記述してください

4、このトレーニングを受けて、どのように先生方をサポートしていこうと思いますか？ パーソナルプランニングしてみましょう

☆アイスブレイク集☆

No.	キーワード	他のスキルとのかかわりや特に密接した関係にある領域等	ねらい	トレーニングメニュー名／●内容	備考(留意点など)
1	・コミュニケーション ・非言語 ・リレーション	・出会い ・リレーション	コミュニケーションの大切さに気づき、リレーションをつくる。	バースデー・チェーン ●非言語のコミュニケーションを用いて、(月日のみによる)誕生日順による1重円をつくる。	・40人未満が妥当。 ・うまから誕生日を示せず困っている人へのサポートを観察し、後でフィードバック ・間違いを肯定的に評価
2	・集団の中で自分を表現 ・自分らしさの発見 ・自己肯定感の高揚	・エゴグラム ・自己理解	集団の中で自分を表現することを通して、自分らしさを意識する。	究極の選択(二者択一) ●YESとNOのどちらかを選択し、それぞれのエリアに移動する。	・質問の内容は集団の実態に即して工夫する。 ・移動のたびに他者の違った面を発見できる。 ・トレーナーが感心を示すことで、理由やエピソードを話し出したり、自分に対する肯定感を高めたりする。 ・活動の様子を観察し、トレーナーが気付いたことや感じたことをフィードバックする。
3	・個々の理想像 ・エゴグラム ・自我の改善 ・大切にしたい自分	・エゴグラム ・自己理解 ・目標	理想のエゴグラムをつくり、自分づくりの目標をもつ。	こうありたい自分 ●理想のエゴグラムを作成する。	・板書等を利用し、いくつか例を示しながら、分かりやすく説明する。 ・それぞれの自我を変化するための工夫を肯定的な雰囲気の中発表する。今のままで大切にしていきたいところにも着目。
4	・自己開示 ・仲間意識 ・記憶 ・自己存在感	・自己理解 ・他者理解 ・リレーション	自分や他者の顔と名前と好きなものを覚えてもらったり、覚えたりする活動を通して、相互に自己を高める。	〇〇が好きな隣の□□が好きな私 ●他者の名前とメッセージ致させながら覚えていく。	・覚えられていない場合は、再度「〇〇が好きな□□です。」と再度自己紹介をしてもよい。 ・人数が多い場合は、実態に即した人数のグループで行っても良い。
5	・自己存在感 ・集団を見渡して	・「ほめ上手」	温かい声かけと共に、ぬいぐるみを渡されたときのうれしい気持ちや、待っていたときの不安な気持ちを体験する。	心のキャッチボール ●動物等のぬいぐるみを投げ交わす。	・4後の応用編 ・投げ合うものは手の中に入るくらいの大きさ。 ・投げるもののエピソードなどを紹介し、より大切に扱いながら心のキャッチボールができるようにする。 ・偏りがあるとエクササイズにより傷つけることもあるので、よく観察する。 ・なるべく偏りがないようにサポートする。
6	・傾聴 ・共感	・「ほめ上手」	相手の自己存在感を高揚させることの喜びを味わう。	オウム返し ●プラスのストロークを贈るとプラスのストロークが返ってくることを体感する。	・肯定的に自分を表現する。 ・相手の目を見て、発した言葉のままに返す。 ・余分なことは付け加えない。特に「だから」や「それで」など。
7	・視覚のある ありがたさ	・「心の人文字」 ・「トラストウォーク」	視覚のあるありがたさを体感する。	ブラインドウォーク ●目をつぶって歩く。 ※ここでの「ブラインドウォーク」とは、サポートなしで一人で歩くものと捉えている。	・「相手の立場」、「思いやりの心」、「信じ合う心」、「感謝」をキーワードとした、目をつぶった相手に無言で寄り添い、安全にゴールまで導く『トラストウォーク』のウォーミングアップとして。
8	・サポーターとしての資質	・「話の聴き方ロールプレイング」	サポーターには、どんな資質が必要かを考える。	瞑想:私はこんな人に相談する ●困ったときに相談する人はどんな人か思い出す。	・『信頼できる人』とはどういう人か具体的に考える。 ・Facing, Eye-Contact, Listen, Open, Relax について知ると共に、その大切さに気付く。
9	・受容 ・共感	・「イメージキャッチ」	イメージする練習をする。	思い出のワンシーン ●目に浮かぶ思い出のシーンを絵にする。	・他者のイメージを聴くことで、相手の気持ちが伝わってくることに気付く。
10	・傾聴 ・共感 ・開かれた質問 ・自己一致	・「質問の仕方SWIH」 ・9「思い出のワンシーン」	開かれた質問をする方が、多くの情報を得ることができることをつかむ。	質問バトル ●2人組で、質問を続け、長く会話ができるか競争をする。	・9後の発展として活用。 ・会話を続けるために、聞き手がたくさん喋ってしまう場合は、情報をどれだけ習得できたか尋ねてみる。 ・活動を観察して感じたことをフィードバックする。

『プラスのストローク(短所は長所?)』

○活動のねらい

自他を肯定的な視点で見つめる大切さに気付く

○所要時間 35分

○トレーニングを受ける人数 3名

○展開

活動内容 《 》は領域、【 】はスキル、『 』は活動名	時間 (分)	トレーニング上の留意点 フィードバックの視点
1 アイスブレイキング 例 ・運動会後の打ち上げの話 ・今日の給食について	5	・場の雰囲気をやや和やかにする。
2 《自己理解・他者理解》 【リフレーミング】 『プラスのストローク(短所は長所?)』 ① あらかじめ職員一人一人に書いてもらってあるカード 『自分で感じている短所』をトレーナーのものも含め、 一人4枚ずつカードリフレーミングをする。 ア:個人で イ:読み合わせ確認	15	① ・できるだけばらばらになるようにする。 ・自分のカードをひいても同様に行う。 ・かけるところだけでよいことを伝える。 ・書ける箇所だけでよいことを伝える。 ・トレーナーはすべて賞賛する。
②エクササイズのシェアリング	5	マイナス面も見方によって、プラス面であることに気付く。
3 本トレーニングから学んだことの確認	5	・プラスのストロークの大切さに気付く。
パーソナルプランニング	5	※パーソナルプランニング例 ・同僚の性格を認める言葉かけをする ・職員の状況や様子に応じた言葉かけをする

パーソナルプランニング後の職員へのかかわりの具体例

サポーターが行ったこと	サポーターが感じたことやサポートを受けた職員の様子
副担任が授業後、生徒の態度に腹を立てていた ので、「先生はそれだけ熱心なんですね」と言葉かけをした	副担任は「そうですか?」と言いつつも穏やかな表情になった

「教師ピア」のワークシートとして活用させてもらうためのものです。
ご多用中のところ申し訳ありません。ご協力をお願いします。

お名前 _____

左側の欄に自分の短所と思われる事柄を3項目書き出して下さい。

あとで、他の職員に見せますので、他の職員に知られたくない事柄は書かなくて結構です。

書き終わりましたら、___月___日()の帰りまでに、_____へ提出して下さい。

ご記入上の注意

※一つの□には、一つの短所を記入して下さい。

例：私は気が短くて、おっちょこちょいです。

…この例は2つの□に分けて書き入れて下さい。

→私は気が短いです。…を一つの□に。

& 私はおっちょこちょいです。を次の□に。

ご自分で感じられている短所

--

--

--

--

--

--

リフレーミング辞典

リフレーミングとは、『フレーム』をかえて見ることです。この辞典での「リフレーミング前」は『短所』と考えられる言葉に限りません。

	リフレーミング前	リフレーミング後			
1	あ	・飽きっぽい	・素直・従順	・環境に馴染みやすい	・好奇心旺盛な
2		・あきらめが悪い	・一途(いちず)な	・チャレンジ精神に富む	・粘り強い
3		・甘えん坊な	・人なつこい	・人にかわいがられる	・むじやき
4		・天の邪鬼	・個性的	・自分自身の考えを理解している	・照れ屋
5		・荒々しい	・きたえられた	・堂々とした	・物おじしない
6		・あわてんぼ	・行動的な	・行動が機敏な	・行動が早い
7	い	・いいかげん	・おおらか	・こだわらない	・寛大な
8		・意見が言えない	・争いを好まない	・協調性がある	・思慮深い
9		・意地をはる	・しっかり者	・物おじしない	・くじけない
10		・いたづら	・こまめに動く	・活動的で元気がいい	・労を惜しまない
11		・いばる	・自信のある	・プライドがある	・お兄(父)さんのような
12		・陰気	・調子に乗らない	・落ち着いてこつこつやる	・冷静
13	う	・浮き沈みが激しい	・心豊かな	・表情豊かな	・繊細な
14		・うるさい	・明るい	・活発な	・元気がいい
15		・上っ調子	・明朗快活である	・無邪気	・発想が豊か
16	えお	・えらそうな	・物知り	・お姉(兄)さんのような	・堂々としている
17		・臆病	・慎重	・用心深い	・きちんとしている
18		・おこりっぽい	・感受性豊かな	・情熱的な	・正義感が強い
19		・おしゃべりな	・社交的な	・活発な	・頭の回転が速い
20		・おせっかいな	・親切的な	・気が利く	・優しい
21		・落ち込みやすい	・真面目に考える	・自分自身を謙虚に受け止められる	・深く物事を思う
22		・落ち着きがない	・こまめに動く	・活動的で元気がいい	・労を惜しまない
23		・おっちょこちょい	・フットワークが軽い	・考えをすぐ行動に移せる	・決断が早い
24		・おっとりした	・マイペースな	・細かいことにこだわらない	・落ち着いた
25		・おどおどしている	・きちんとしている	・まじめでこつこつとやる	・慎重かつ丁寧
26		・おとなしい	・穏やかな	・話をよく聞く	・考え深い
27		・お人好し	・やさしい	・人の気持ちを考える	・気が利く
28		・面白みがない	・きまじめな	・おとなしい	・独創的
29		か	・かたい	・礼儀正しい	・まじめ
30	・かたくるしい		・きまじめな	・厳格な	・意志が強い
31	・勝ち気な		・向上心がある	・活動的な	・一生懸命な
32	・カッとしやすい		・情熱的な	・正義感が強い	・一生懸命な
33	・軽はずみ		・積極的	・決断が早いスピーディーに処理	・気軽に物事を
34	・かわっている		・味のある	・個性的な	・独創的
35	・考えが浅い		・率直な	・楽天的	・おおらか
36	・頑固		・一貫性がある	・意志の強い	・信念がある
37	・かんしゃく持ち		・正義感が強い	・元気が良く情熱的	・一生懸命
38	・感情的な		・人情のある	・情熱的	・思いやりのある
39	・簡単な		・気取らない	・率直な	・やさしい
40	き		・気が荒い	・正義感が強い	・元気が良く情熱的
41		・気が散りやすい	・環境に馴染みやすい	・いろいろなことに興味をもつ	・素直・従順
42		・気が弱い	・慎重	・用心深い	・人を大切に

43	き	・気性が激しい	・情熱的な	・感受性豊か	・一生懸命	
44		・きつい感じの	・凜とした	・シャープな感性の	・威厳のある	
45		・気にしない	・堂々たる	・自信をもった	・おおらか	
46		・きびしい	・責任感がある	・自分に自信がある	・正義感がある	
47		・気分屋	・気がつく	・気が向けば一気にやり通す	・物事にこだわらない	
48		・気まぐれ	・気がつく	・気が向けば一気にやり通す	・物事にこだわらない	
49		・気持ちの切り替えがへた	・徹底している	・真剣に物事を考える	・粘り強い	
50		・気を回しやすい	・よく気がつく	・人の気持ちをくみ取るのが上手	・思いやりのある	
51		く	・空気が読めない	・動じない	・自分らしさをもっている	・マイペース
52			・ぐずぐずしている	・着実	・念入りにことを行う	・綿密
53	・口が軽い		・うそのつけない	・社交的な	・正直な	
54	・口がきつい		・率直な・偽りのない	・ありのままを表現している	・厳格に表現できる	
55	・口が悪い		・素直	・ありのままを表現している	・物おじしない	
56	・口下手な		・うそがつかない	・控えめな	・聞き上手	
57	・暗い		・知的	・自分の心の世界を大切にしている	・思慮深い	
58	け	・計画性がない	・発想が豊か	・アイデアマン	・応用力のある	
59		・けじめがない	・物事に集中できる	・温和な	・おおらかな	
60		・けちな	・経済観念のある	・慎重	・計画性のある	
61	こ	・強引な	・エネルギーが強い	・リーダー性がある	・信念のある	
62		・興奮しやすい	・正義感が強い	・元気が良く情熱的	・一生懸命	
63		・こだわる	・最後までやり通す	・物事を大切にしている	・専門的	
64		・ことわれない	・人のために尽くす	・相手の立場を尊重する	・寛大な	
65		・凝り性	・粘り強い・芯が強い	・徹底的に物事に取り組む	・徹底している	
66	さ	・些細なことで悩む	・細かいところによく気づく	・何事にもまっすぐ向き合う	・慎重	
67		・騒がしい	・明朗快活である	・無邪気	・発想が豊か	
68		・さわがしい	・明るい	・活発な	・元気がいい	
69	し	・しつこい	・粘り強い・芯が強い	・徹底的に物事に取り組む	・徹底している	
70		・知ったかぶり	・親切的な	・知的な・物知りな・博学	・活動的	
71		・自分がない	・協調性豊かな	・受容的な	・共感的な	
72		・自分の正しいと思うことを言う時、人を傷つけてしまう	・信念がある	・思ったことをはっきり言うことができる	・素直に表現できる	
73		・自慢する	・自己主張できる	・自分を愛している	・自信をもった	
74		・地味な	・素朴な	・ひかえめな	・けんやくな	
75		・集中できない	・視野が広い	・なんでもできそうな	・気が回る	
76		・消極的	・調子に乗らない	・落ち着いてこつこつやる	・冷静	
77		・消極的な	・ひかえめな	・周りの人を大切ににする	・慎重	
78		・神経質な	・清潔な	・ていねい	・気が利く	
79		・心配性	・神経細やか	・人に気が配れる	・慎重	
80	す	・ずうずうしい	・堂々とした	・積極的	・押しが強い	
81		・すぐカッとなってしまう	・感性豊か	・情熱的	・正義感が強い	
82		・すましている	・頭のよさそうな	・冷静	・清楚な	
83	せ	・整理整頓が苦手	・物持ちがよい	・やるべきことが沢山ある	・物に愛着をもって大切に	
84		・責任感がない	・無邪気な	・自由な	・悠々自適	
85		・せっかちでそそっかしい	・積極的	・決断が早い・スピーディーに処理	・気軽に物事を	
86	そ	・外面(そとづら)がいい	・社交的な	・協調的な	・明るい	
87		た	・だまされやすい	・素直な	・純朴な	・人を信じられる
88	・ためらうことが多い		・綿密	・念入りにことを行う	・着実	
89	・だらしない		・おおらか	・ゆったりしている	・こだわらない	
90	・短気である		・情熱的である	・行動力がある・判断が早い	・感受性豊かな	
91	ち	・調子がいい	・親しみやすい	・かわいい	・愛想がよい	
92		・調子にのりやすい	・ノリがいい	・雰囲気明るくする	・敏感な	

93	つ	・つまらない	・素朴な	・清楚な	・個性的な
94		・冷たい	・シャープな感じ	・判断力がある	・凜とした
95	て	・出しゃばりが多い	・しっかり者	・物おじしない	・世話好きな
96	と	・取り越し苦労が多い	・慎重	・用心深い	・きちんとしている
97	な	・長続きしない	・環境に馴染みやすい	・いろいろなことに興味をもつ	・素直・従順
98		・生意気な	・自立心がある	・物おじしない	・元気
99		・涙もろい	・人情味がある	・相手の気持ちになれる	・感受性豊かな
100		・なれなれしい	・物おじしない	・人づきあいが上手な	・溶け込みやすい
101	に	・一人になりがち	・自立した	・独立心がある	・ひかえめな
102	ね	・根暗な	・調子に乗らない	・自分の心の世界を大切にしている	・冷静
103	の	・のんきな	・おおらかである	・信念のある	・冷静
104		・のんびりした	・おおらかである	・信念のある	・冷静
105	は	・はきはきしない	・調子に乗らない	・落ち着いてこつこつやる	・冷静
106		・八方美人な	・溶け込みやすい	・人づきあいが上手な	・物おじしない
107		・はにかみや	・きちんとしている	・まじめでこつこつとやる	・慎重かつ丁寧
108		・早のみこみ	・気軽に物事を	・決断が早いスピーディーに処理	・積極的
109		・反抗的な	・自立心のある	・自分の考えを理解している	・考えがはっきりした
110	ひ	・ひがみっぽい	・よく気がつく	・人の気持ちをくみ取るのが上手	・思いやりのある
111		・引っ込み思案	・きちんとしている	・まじめでこつこつとやる	・慎重かつ丁寧
112		・人づきあいが下手	・こまやかな心をもった	・心の世界を大切にす	・思慮深い
113		・一つのこと熱中しすぎてしまう	・情熱的	・熱意がある	・集中力がある
114		・人に合わせる	・協調性豊かな	・人を大切にしている	・物わりのよい
115		・人に流されやすい	・素直な性格	・環境に順応しやすい	・協調性がある
116		・人の言いなり	・物わりのよい	・人を大切にしている	・協調性のある
117		・人の顔色をうかがう	・よく気がつく	・人の気持ちをくみ取るのが上手	・思いやりのある
118		・人の考えを気にしすぎる	・融和的	・人のことを考えた	・細やかな
119		・人の語二首をつこみたがる	・親切で気が回る	・コミュニケーション力がある	・広い視野をもっている
120		・独りぼっち	・物事に動じない	・おっとりしている	・冷静
121		・独りよがり	・しっかり者	・物おじしない	・くじけない
122		・人をうらやむ	・理想のある	・共感的な	・向上心のある
123		・ひねくれている	・ユーモアのある	・独創的な	・信念のある
124	ふ	・ふざける	・陽気な	・雰囲気明るくする	・ノリがいい
125		・不平を言う	・物事にこだわらない	・気が向けば一気にやり通す	・気がつく
126		・プライドが高い	・堂々とした	・自分に自信がある	・自分をもった
127	ほ	・ぼうっとしている	・細かいことにこだわらない	・自分の世界をもっている	・マイペースな
128	ま	・マイペース	・自分らしさをもっている	・自分の世界をもっている	・信念がある
129		・負けずぎらい	・向上心がある	・理想のある	・一生懸命
130		・周りを気にする	・心配りができる	・広い視野をもっている	・協調性のある
131	む	・無愛想で取っつきにくい	・物事に動じない	・おっとりしている	・冷静
132		・無口な	・穏やかな	・話をよく聞く	・思慮深い
133		・向こうみずな	・思いきりがいい	・行動的な	・決断力がある
134		・無理をしている	・協調性がある	・期待に応えようとする	・一生懸命
135	め	・命令しがちな	・自分の考えをもった	・リーダーシップがある	・自信のある
136		・目立たない	・素朴な	・自分の世界を大切にしている	・協調性がある
137		・目立ちたがる	・自己表現が活発な	・物おじしない	・自信のある
138		・面倒くさがり	・細かいことにこだわらない	・興味をもったこと熱意を注げる	・おおらか
139	も	・物おじする	・慎重で思慮深い	・慎重	・用心深い
140		・物事をやりっぱなし	・こまめに動く	・活動的で元気がいい	・労を惜しまない
141	ゆ	・優柔不断	・広い視野がある	・他の人の意見を尊重する	・最良のことを常に考えた
142		・融通が利かない	・粘り強い・芯が強い	・徹底的に物事に取り組む	・徹底している
143	よ	・よく考えない	・行動的な	・発想力が豊か	・気軽に物事を
144	ら	・乱暴な	・たくましい	・物おじしない	・思いきりがいい
145	る	・ルーズな	・こだわらない	・おおらかな	・楽天的

『どう考えているのかな？(獅子舞)』

○活動のねらい

いろいろな考え方があり、それぞれを受容的・共感的に受け止めることの大切さに気付く

○所要時間 45分

○トレーニングを受ける人数 3名

活動内容 《 》は領域、【 】はスキル、『 』は活動名	時間 (分)	トレーニング上の留意点 フィードバックの視点
1 アイスブレイキング ※視点:傾聴・受容・共感 例 ・1分間スピーチで話したり聴いたりする (題:学年の雰囲気、前回の職員会議で感じたこと)	5	・傾聴し、受容的・共感的に聴くように努める
2 《受容・共感》 【教師へのかかわり 事例演習】 『どう考えているのかな？(獅子舞)』 ①ケース資料を読む ②各自読んで感じたことをワークシートに記入 ③②をもとに話し合い ④③を経ての考えを記入 ⑤エクササイズでのシェアリング	20	①個々の場面想起を重視したいので、極力コメントは避ける ②感じたままに書くことを伝える ③あらゆる場面をフィードバック時に賞賛するために行動を共感的に観察する ④考えの変化の有無は問わない
【補助発問】 ・あなたの考えを伝えている時、あなたは？ ・あなたが話している人の話と同調しているとき、その人は？ ・話と同調されない人がいたとき、あなたや他の人は？	5	①伝えたことと考えを受け入れたことのバランス ②話し合いで感じたこと ③同調と同調されない発言への対応
3 本プログラムを振り返って	5	フィードバックの視点 ・いろいろな考え方があり、それぞれを受容的・共感的に受け止めることの大切さに気付く
パーソナルプランニング	5	※パーソナルプランニング例 ・学年職員の長所を生かせるアドバイスを 行っていく ・取り組んでいることをまずは認め、励ましていく

パーソナルプランニング後の職員へのかかわりの具体例

サポーターが行ったこと	サポーターが感じたことやサポートを受けた職員の様子
担任と音楽主任との合唱づくりへの考えの相違で悩んでいる担任へ「先生のお考えをお聞かせください」と担任の思いを聞いた	「先生の思いは音楽主任へ伝えます それぞれやり方は違っていても、子どもへの思いは熱いんですね」とコメントすると落ち着いたトーンでの会話になった

教師へのかかわり ケース演習 【獅子舞】

年 月 日 () 名前

〈ケース〉

- ①郷土学習の一環として、小学校2年生の担任であったA子教諭は、生活科単元として「わたしたちのまちのおまつり」を取り入れることとした。
- ②担任は、単元導入に先立ち教材研究として、地域の役場・公民館・図書館・寺社などから情報収集を行った。
- ③神社訪問時に、訪問先の神社祭りでは「獅子舞」が催されることを知った。神主から説明を受ける中で、「獅子舞」の「獅子」に触れようと手を伸ばすと…
- ④神主から「だめ、だめ、触らないで欲しい。」と注意を受けた。
- ⑤A子教諭は、「どうして触れてはいけないのか」と疑問に思った旨を神主に訪ねると、
- ⑥『獅子は神体そのもの』なので、女性は触れてはならない。大切なものであるから、女性に限らず、むやみやたらに触れて欲しくない。」と神主から返ってきた。
- ⑦A子教諭は、その場は神主に従い、「獅子」に触れずに帰校した。

- ⑧次の日、A子教諭は校長先生にお願いをした。 ※お願い内容は⑨
- ⑨生活科の単元学習「わたしたちのまちのおまつり」の中で「獅子舞」のことについても取り扱っていきたいので、是非、神主さんから「獅子」を借りたい。ついでに、女性であるA子教諭は、借りに行けないので、校長先生自ら借用申請書を持参し、借りてきて欲しい旨を伝えた。
- ⑩数日後、校長が借用申請書を持参し神社に行くと、神主から運搬用に梱包し、神社より学校へ持参する旨を伝えられた。
- ⑪その翌日、神主が「獅子」を学校へ届けにきた。

- ⑫生活単元学習の時間、全員の児童が「獅子」に触った。
- ⑬A子教諭は「獅子」をもって「獅子舞」のまねごとのように、児童に舞って見せた。

〈演習〉

1. あなた自身が概要を読んで感じたことを書いてください。

2. グループで話し合った後のあなたの考えを書いてください。

『どんな気持ち？』

○活動のねらい

生徒自らが「気付き」を感じられるなど、生徒の心に落ちる教師の思いが詰まった言葉かけについて熟考することを通して、適切な言葉掛けの大切さに気付く

○所要時間 35分

○トレーニングを受ける人数 3名

活動内容 《 》は領域、【 】はスキル、『 』は活動名	時間 (分)	トレーニング上の留意点 フィードバックの視点
1 《自己理解・他者理解》 【生徒へのかかわり シミュレーション演習】 『どんな気持ち？』 ①ワークシート「どんな気持ち？」に記入 ・記載問題：設問1・2 ※設問ごとに、個々のすべてに記入欄に記入し、全体で発表し合い、深めていく	15	① ・書けるところだけ記入し、書けないところは、話し合いで確認することを伝える ・ワークシート記入上の注意 ○「生徒に発した言葉」の場面設定は、本人とするか、他の教師とするかは、状況に応じて決定する ○「より良い言葉かけは？」は、「○○と話せば良かった」の○○の部分をもとに具体的に考える あらゆる場面をフィードバック時に賞賛するために行動を共感的に観察する
②ワークシート「どんな気持ち？」に記入 ・設問3は、場面を想定して、普段の教師の言葉かけから考える ※場面想起から、個々にすべての記入欄に記入し、全体で発表し合い、深めていく	10	② ・(設問3の)場面想起では、自分が苦手とする場面を中心に考えることを伝える ・場面を想起できない場合は、いくつかの場面を提示する ○机の周りが散らかっている生徒へ ○授業道具が机上にそろっていない生徒へ ○筆記に適した鉛筆を準備していない生徒へ など あらゆる場面をフィードバック時に賞賛するために行動を共感的に観察する
③エグザサイズのシェアリング	5	☆フィードバックの視点 ・生徒自らが「気付き」を感じられる言葉かけの大切さに気付く ・言葉は同じであってもノンバーバルの部分での違いで受け取り方が違うことに気付く
2 本プログラムを振り返って	5	☆フィードバックの視点 ・生徒の立場に立つことの大切さに気付く
パーソナルプランニング	5	※パーソナルプランニング例 ・学級を一つにするための陰になるサポートと声かけに努める ・合唱練習への取組で、担任が気になっている生徒について話題にし傾聴するサポートできることがないか、その内容から判断して実行していく

パーソナルプランニング後の職員へのかかわりの具体例

サポーターが行ったこと 生徒への再三の注意にもかかわらず、提出物をもってこないことに腹を立てていた担任へ、「(その生徒へ)どう伝えればもってこれそうですか？」と言葉を掛け、生徒への言葉掛けを一緒に考えた	サポーターが感じたことやサポートを受けた職員の様子 一緒に考えたことで、その生徒の家庭状況をふまえて考えることの大切さに、担任と共の自分自身も気付くことができた
--	---

生徒へのかかわり演習【どんな気持ち】

年 月 日 () 名前

生徒とのかかわりには、様々な場面があります。この演習では、ごく一部のかかわりの振り返りですが、場面ごとの先生の気持ちや生徒の気持ちを深く考えてみましょう。

1【授業中】宿題を忘れた生徒に対して(頻繁に宿題を忘れる生徒へ)

①生徒に発した言葉 ②どんな気持ち? ③よりよい言葉かけは?

①生徒に発した言葉 ・何度言ったら分かるんだい。なんで宿題を忘れたんだか、理由を言ってみて!	②どんな気持ち? 言ったときの先生の気持ちは?	③よりよい言葉かけは?
	言われた生徒は、どんな気持ちになったか?	

2【合唱練習中】「合唱祭」の練習中に下を向いている生徒に対して

①生徒に発した言葉 ②どんな気持ち? ③よりよい言葉かけは?

①生徒に発した言葉 ・みんな真剣に歌っている時に、なんで、下を向いているんだい! 歌う気はあるんかい!	②どんな気持ち? 言ったときの先生の気持ちは?	③よりよい言葉かけは?
	言われた生徒は、どんな気持ちになったか?	

3

--

①生徒に発した言葉 ②どんな気持ち? ③よりよい言葉かけは?

①生徒に発した言葉	②どんな気持ち? 言ったときの先生の気持ちは?	③よりよい言葉かけは?
	言われた生徒は、どんな気持ちになったか?	

『いじめ』

○活動のねらい

いじめを受けた生徒やその生徒の保護者の気持ちに寄り添って考えることの大切さに気付く

○所要時間 40分

○トレーニングを受ける人数 3名～多数

活動内容 《 》は領域、【 】はスキル、『 』は活動名	時間 (分)	トレーニング上の留意点 フィードバックの視点
1 《生徒指導》 【保護者・生徒へのかかわり事例演習】 『いじめ』 ①事例を読む ②各自読んで感じたことをまとめる ③②をもとに近くの人に伝え合う	20	・資料の配布 ①コメント等、補足をしない。 ②ワークシートの配布。問題があると感じる番号に○を付けてもらう。コメント等、補足をしない。 ③あらゆる場面をフィードバック時に賞賛するために言動を共感的に観察する ④すべての番号に最低一つは問題があることを告げる
④エクササイズシェアリング ・各自感じたこと・話し合いの様子を発表	10	・お互いの気付きを認め合っている
2 本プログラムを振り返って	5	フィードバックの視点 ・いじめを受けた生徒やその生徒の保護者の気持ちに寄り添って考えることの大切さに気付く
パーソナルプランニング	5	※パーソナルプランニング例 ・生徒の一瞬の表情を見逃さないためにも、職員相互で言葉を掛け合うようように努めていきます。まずは、自分が率先して

パーソナルプランニング後の職員へのかかわりの具体例

サポーターが行ったこと	サポーターが感じたことやサポートを受けた職員の様子
部活動の練習試合中、うちの選手がファールをされたので、応援していた生徒が声をそろえて「何やってんの～」とヤジをとばしていた。生徒に「応援したい気持ちは分かるけど、相手だってわざとやったわけではないから、その言動はどうか？」と考えさせたという話を生徒から聞いた。その顧問にチャンス相談を行い、そのときの気持ちを聞いた。	・サポーター:「どうして今まで注意しなかった生徒の言動に気づけたんですか？」 ・顧問:『いじめ』に発展するかもしれない生徒の資質を感じた時には、注意しようと、パーソナルプランニングしたからです ・サ:「先生のとった行動に対して、選手から、『なんかすがすがしい試合だった』とも聞いています」 ・顧:「そう感じてくれる生徒であふれて欲しいです」

いじめ事例回答用紙（ 個人用・グループ用 ）

設問 1 この事例において、対応等の問題点はどこですか

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12

設問 2 今後、良男への対応をどうしたらよいでしょうか

設問 3 今後、良男の保護者へはどのように対応していけばよいでしょうか

模擬事例(演習資料) ※ この事例はフィクションであり、実在の人物、団体、事件等とは一切の関係がありません。

- 1 小学校より「A 男は、学力が低い。意思表示がしっかりできない。集団から疎外されやすい。B 男とは仲が良いので、是非同じクラスにして欲しい。また、身体的理由により席を廊下側にしたいという保護者からの要望がある」という申し送りを受けた。
【4月8日】 小学校の申し送りを受けたことにより、A 男はB 男と同じクラスでの1年が始まった。
【4月11日】 席決めの時、男女を問わず廊下側になることを嫌がっている生徒の雰囲気があったが、特に問題はないと感じた C 教諭は、担任として、「理由を聞くほどのことでもないだろう。生徒の主体性に任せよう」と考え、そのまま席決めを行った。
- 2 【4月12日】 昼休み、騒ぎ声が聞こえたので C 教諭が廊下に出てみると、男子が集まって体育着のズボンを下げ合っていた。C 教諭は、「何やっているんだ」と一声かけたが、生徒は悪ぶれるわけでもなく、そのまま続けていた。笑い声は聞こえたものの嫌がっている声は聞こえないと感じた C 教諭は、そのまま職員室へ向かった。生徒のじゃれ合いと感じたため、他の職員へは報告するほどのこともないと受け止めていた。
【4月15日】 3日後、C 教諭が見かけた光景を目にした D 教諭は、その場に居合わせた生徒を強く叱った。生徒指導は一貫性が大切であると感じている D 教諭ではあったが、生徒は口々に「C 先生は注意しなかった」と言っていたものの、その時の生徒の様子からしっかり反省しているものと感じたため、他への報告はしなかった。
- 3 【4月28日】 A 男が入学して初めての授業参観及び保護者会が行われた。C 教諭は、保護者会で「体育着のズボンを下ろし合って遊んでいる生徒がいたので、先週学年集会で注意をした。今週は、ほとんどこのような行為はなかった。また、幼さが抜け切れていない」と伝えたところ、「まったくねえ」という保護者の声とともに笑いが起こった。A 男の保護者は不安を感じたものの司会者であったり、保護者会会場が笑い声に包まれていたりしたために、声を発することができなかった。その時、有紀の母親が「笑い事ではありません。真剣に考えるべき事です」と発言をした。しかし、他の保護者は、「子どもの遊びでしょ」という反応であった。C 教諭は、「まだ、子どもですから」とその場を和やかにして閉じた。
- 4 【5月10日】 昼休み、ズボンを下ろし合っている生徒を見かけた C 教諭は「もう、小学生ではないのだから、そんな遊びはよくなさい。いったい何度言ったら分かるんだ」と注意をした。
- 5 1学期を通して、A 男は風邪や腹痛を理由に断続的に8日欠席した。A 男は誰からもおとなしいと感じられる生徒であった。また、同じようにおとなしい生徒が集まったグループの中では、A 男が意思表示を明確にしないため、友達同士でトラブルとなることがたまにあったが、B 男がいつもかばっていた。担任の C 教諭は大きなトラブルというわけでもなかったため、グループの仲間から話を聞いただけで特に学級全体を指導することもなく、1学期間、様子を見て過ごした。
- 6 【12月3日】 午前中各自宅から学校までの通学路整備が PTA 奉仕作業として行われた。
《10:30》作業終盤、A 男の父親は担任である C 教諭から、「A 男君のことでちょっと話があります」と言われた。「どんなことですか」と父親が尋ねると、「ズボンを下ろすいたずらがはやっている」とだけ担任から伝えられた。その場で C 教諭は父親へ面談の時間と場所を伝えた。「さっき伝えられた事実だけで、保護者をわざわざ呼び出すであろうか？」と疑問に感じた父親は、携帯電話で母親に連絡を取り同席して欲しいと伝えた。
- 7 【12月3日】 校長室にて、E 主任と担任である C 教諭から、A 男の両親は説明を受けた。校長はその場に同席しない。
《13:00》主な会話は下記逐語記録1に示す。

《逐語記録1》

C 教諭 「詳しいことは分かりませんが、A 男君がズボンを下ろされているらしい」
父親 「それだけのことで、学校へ親を呼び出しますか？はっきりと具体的な内容をお話してください」
C 教諭 「トイレでズボンを下ろされているらしいが、詳しいことは分からないので、調べてみます」
父親 「詳しく把握していない段階でなぜ両親を呼んだのですか？いじめですか？」
C 教諭 「今の段階では何ともいえません。それに、私が来て欲しいと伝えたのは、お父様であって、お母様まで来られるとは思っていませんでした。また、そんなに大きな問題でもないと思いますし」

- 8 【12月5日】 校長室にて、E 主任から、A 男の両親は説明を受けた。校長・教頭、担任である C 教諭も同席。
《19:00》

《逐語記録2》

E 主任 「大変申し上げづらいことですが、これからお話しするような内容が A 男君の身に起きました。」

《概要説明》

- ・休み時間等に便所に連れ出しパンツをおろし陰部の皮を剥いたり揉んだりして遊ばれていた。
- ・連れ出す時に被害者の子がいやがると、A 男君の手先が器用でないことを逆手にとり、「じゃんけんをして負けた んだから、行くんだぞ」と連れ出していた。
- ・便所では抵抗しようとする、殴る蹴るの暴行を加えたり羽交い締めにしたり、声を出そうとすると口を押さえたりし、 怖がり怯えている表情を見てあざ笑ったりしていた。

父親 「だれも気付かなかったのですか？」
E 主任 「始業直前、トイレの方から泣きながら走ってきた A 男君を呼び止めた D 教諭が初めて気付きました」
父親 「休み時間は、校内巡視はしないのですか？」
E 主任 「特にはしていません」
父親 「何が発端だったのでしょうか？」
E 主任 「以前から、ズボンを下ろし合うことが流行っていましたが、どうも体育館掃除中にたまたまパンツまで下ろされたことから始まったようです」
父親 「体育館の清掃担当は、生徒指導主事ですよ。掃除監督は行かれていないのですか？体育館清掃担当と接話をしたいのですが」
校長 「それはできません」
父親 「どうしてですか」
校長 「職員を守る義務があるからです」
父親 「学校は、職員といじめの被害にあった生徒のどちらが大切ですか？」

- 9 その後、A 男は学校に行こうとしなくなった。A 男の両親も行きたくないなら行く必要はないと A 男の主張を認めた。

- 設問1 この事例において、対応等の問題点はどこですか
設問2 今後、A男への対応をどうしたらよいでしょうか
設問3 今後、A男の保護者へはどのように対応していけばよいでしょうか

『いいところ探し』

○活動のねらい

サポーターとしてどのようにサポートしていくのかについて考えることができる

○所要時間 30分

○トレーニングを受ける人数 3名～多数

活動内容 《 》は領域、【 】はスキル、『 』は活動名	時間 (分)	トレーニング上の留意点 フィードバックの視点
1 《自己理解・他者理解》 【自他からの自分へ】 『いいところ探し』 ①自他からの「いいところ探し」を読む ②各自読んで感じたことをまとめる ③②をもとに近くの人に伝え合う	15	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に「いいところ探し」を配付 ・書いてくださったことへのお礼 ・ワークシートの配布 ①自分自身へのいいところ探しを書かなかった人へは、人から見た「いいところ」を受容するように伝える ②③あらゆる場面をフィードバック時に賞賛するために行動を共感的に観察する
④エクササイズシェアリング ・各自感じたこと・話し合いの様子を発表	5	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いによいところを認め合っている
2 本プログラムを振り返って	5	フィードバックの視点 <ul style="list-style-type: none"> ・トレーナーとしてどのようにサポートして行くのかについて考えることができる
パーソナルプランニング	5	※パーソナルプランニング例 ・それぞれの良いところに向け、より良い人間関係を築いていけるようにしていきたいと思います

パーソナルプランニング後の職員へのかかわりの具体例

サポーターが行ったこと	サポーターが感じたことやサポートを受けた職員の様子
「生徒が授業中真剣に取り組めなくて…」と嘆いていた A 教諭へ B 教諭が「そうですか？『A 先生はいつも俺たちと真剣に向き合ってくれている』と生徒が言っていました、私自身もそう感じています。先生ほど生徒のノートを丁寧に見られている方を見たことはありません。そういう先生の姿を生徒は見逃していないんですね」と言葉を掛けした	B 教諭からの言葉掛け後、A 教諭へインタビュー 「そんな風に見ていてくださったんだ～となんとなくはるかしくなります。でも、自分のやっていることに間違いはなかったなと勇気づけられました。笑顔になっていく自分に気がきました」

自他から自分へ 振り返りシート 【いいところ探し】

年 月 日 () 名前

「いいところ探し」ご記入にあたり貴重なお時間をいただきありがとうございました。

先生方からのコメントをお読みになって感じたことを書いてください。文章でも箇条書きでもどちらでも結構です。

今回のこの「いいところ探し」の体験をこれからの職場にどのように生かしていこうと思いますか？

いいところ探し

先生へ



.....

.....

より

平成 年 月 日

〇〇校職員各位

〇〇 〇〇 〇〇

いいところ探し記入のお願い

ご多用のところお世話になります。先生方の「同僚性」を高める「教師ピア」の一環として、各先生への「いいところ探し」をお願いしたいと思います。

「いいところ探し」では、先生方が「お互いを肯定的に認め合い、支え合っている風土のある職場」を実感する一助になればと考えています。

ご記入に当たって

- 書ける範囲で結構ですので、できるだけ具体的にお願いします
- ご自分からご自分へのコメントも同様に書ける範囲で結構です
- 月 日（ ）の〇〇までに、〇〇までご提出いただきますようお願い申し上げます